

地対協コーナー

今号は、5月に開催した委員会の報告をお届けします。5月15日(水)には救急医療特別委員会を開催しました。軽症者の救急搬送増加が課題となっています。広島県の令和4年度における全救急搬送は127,150人です。軽症者は49,086人であり、救急搬送全体の38.6%を占めています。広島県では、本年4月より、救急車を呼ぶかどうか迷った時に相談する救急相談センター（#7119）がほぼ全県で利用できることとなり、相談センターを有効に活用して、軽症者の救急搬送を減らすことが必要です。認知度向上のための県民周知についても委員会で協議しました。詳細は報告をご確認ください。

皆さまのご要望やご意見などがございましたら、遠慮なく、事務局までお寄せください。また、過去の各委員会活動などは、地対協ホームページ (<https://www.citaikyo.jp/>)へ掲載していますので、アクセスをお待ちしております。

○第1回救急医療特別委員会

日時：令和6年5月15日(水)18時30分

場所：広島県医師会館 3階 302会議室/

Web

委員長：志馬 伸朗（代理：楠 真二）

第8次広島県保健医療計画（救急医療対策）の策定、救急搬送支援システム実証実験の実施状況についての報告のほか、救急車両の適正利用（#7119）に係る県民への周知等について協議した。

報告事項

(1) 第8次広島県保健医療計画（救急医療対策）の策定について

広島県より、第8次広島県保健医療計画（救急医療対策）においては、①適切な病院前救護活動②救急医療などの医療連携体制③重症度・緊急度に応じた医療提供④療養の場への円滑な移行に重点的に取り組んでいく旨の説明があった。

本計画は、策定することが目的ではなく、策定後の取り組み、進捗が非常に重要であるため、都度、会議等で共有・相談しながら進めていく。

(2) 救急搬送支援システム実証実験の実施状況について

広島県より、令和5年10月16日に正式運用を開始した救急搬送支援システム実証実験について、これまでの実施状況、今後のスケジュールについて説明があった。

委員からは、「プレホスピタルレコードは、救急隊が搬送した患者の転帰を知る唯一の情報源である。救急隊のレベルアップを図るために

も、最終的な診断結果を返す機能を仕様を組み込んでほしい」との要望があった。一方で、「フィードバックまで求めると、ひとつの症例が完結するまでに時間を要する。救急搬送支援システムは、本来、救急隊が患者を迅速に医療機関へ搬送することを目的としているため、システムはできるだけ簡潔にした方が運用されやすいのではないかと。フィードバックについては、本システムとは切り離して考え、別の手段を用いて運用してはどうか」との意見も挙がった。

令和7年度予算要求のためには、救急搬送支援システムの実証実験後以降の本番システムの予算要求に向けて、正確な仕様書作成が必須であり、今後、そのためのスケジュールの再検討、要望を含めた必要機能の整理、予算確保（要求）、各市町との費用負担の考え方などをWG内で速やかに検討していく。

(3) 令和5年度救命救急センターの充実段階評価について

広島県より、令和5年度救命救急センターの充実段階評価の結果について報告があった。

応需率については、各医療機関の数値に大きな差異がみられるため、今後は、応需率の定義、データの取り方を明確に提示し、全医療機関で統一する必要がある。

(4) 広島圏域および福山・府中圏域における救急医療対策について

2次救急は、主に都市圏（広島・福山）において共通の課題であることから、各機関での取り組み状況や課題等を報告し、情報共有を行った。

福山・府中圏域では、広島県（健康危機管理

課、東部保健所福山支所)が事務局を担い、圏域内での現状、課題を共有するため救急医療体制に係る協議会やアンケートを実施している。

協議事項

(1) 救急車両の適正利用 (#7119) に係る県民への周知について

広島県より、救急車両の適正利用 (#7119) に係る県民への周知について、各機関が行っている広報活動の例を示しながら現況を説明した。運用に係る大きな成果としては、今年4月から備後圏域(県内6市町)での運用が開始したことにより、県内で計21市町(庄原市、大崎上島町を除く)での実施となったこと、これに伴い統一的広報を行うべく、#7119の統一ロゴを

作成したことを報告した。併せて、各委員へ向け、#7119統一ロゴを活用してそれぞれの所属機関においても積極的な広報を行ってほしい旨要望した。

今後は、ポスター、チラシに加え、PR動画の作成にあたり、構成等を検討していく。

(2) その他

補委員長代理より、救急における医療スタッフ不足に対する問題提起があり、意見交換する場を設けたいとの要望があった。

本件については、まずは調査を行い実態の把握が必要との意見があり、今後、検討する場(会議体)の要否、設置する場所等を広島県・広島市・本協議会の3者で検討していく。

県地对協からの提供資料について

県地对協では以下の県内共通クリティカルパス、パンフレット、マニュアル等を作成しています。ご入り用の際は下記事務局までご連絡ください。

【地域連携クリティカルパス】

- 乳がん患者さんのための「わたしの手帳Ver.7」
- 肺がん術後患者用「わたしの手帳Ver.3」
- 心筋梗塞・心不全 手帳 地域連携パス
- 心筋梗塞・心不全手帳の使い方 ご本人・ご家族用
- 前立腺がん 手帳 地域連携パス
- 甲状腺がん 手帳 地域連携パス
- 大腸がん 手帳 地域連携パス
- 大腸がん内視鏡治療後患者用手帳
- 胃がん 手帳 地域連携パス
- 胃がん内視鏡治療後患者用手帳

など

【パンフレット・マニュアル】

- ACPの手引き 「豊かな人生とともに…」

【事務局】 広島県医師会地域医療課 電話：082-568-1511 Eメール：citaikyo@hiroshima.med.or.jp



乳がん患者さんのための「わたしの手帳Ver.7」



肺がん術後患者用「わたしの手帳Ver.3」



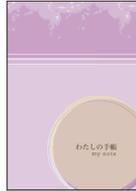
心筋梗塞・心不全手帳 地域連携パス



心筋梗塞・心不全手帳の使い方
ご本人・ご家族用



前立腺がん手帳 地域連携パス



甲状腺がん手帳 地域連携パス



大腸がん手帳 地域連携パス



大腸がん内視鏡治療後患者用手帳



胃がん手帳 地域連携パス



胃がん内視鏡治療後患者用手帳



ACPの手引き
豊かな人生とともに

など

※一部ホームページにて公開中

広島県 地对協
検索